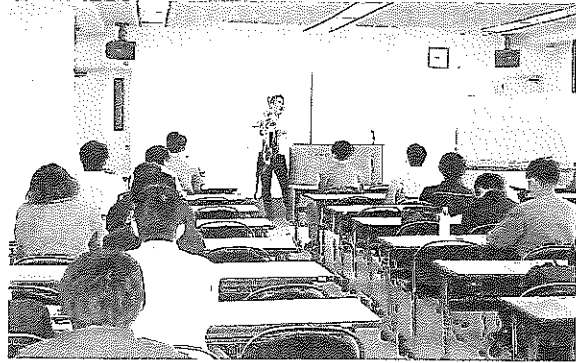


## 県電設協がフルハーネス講習 構造や使用法など学ぶ



熊本県電設業協会（松尾修一会長）は23日、電気工事の現場作業者らを対象に、労働安全衛生規則で義務付けられるフルハーネス型墜落制止用器具の特別教育講習会を行

った。

熊本市流通情報会館であり、作業知識からフルハーネスの使用方法までの学科や実技全てを学ぶ6時間コースに18人、胴ベルトを用いて6カ月以

上従事した経験を有する者などで学科の一部免除を認めた5時間コースに6人が受講した。講師を務めたエレテックの永野広朗社長がフルハーネスの構造や装着・点検方法、電柱作業等に

おける災害防止措置などを解説。永野社長は「自分の身を守ることが大前提だが、職長等の立場になった時に部下などの安全も守れるよう、しっかりと知識を身に付けてほしい」と訴えた。